**The Quality Horizon – What is the SCMH?**

（<https://www.buzzsprout.com/2004393/11864392-what-is-the-scmh>）

２０２３年１月１０日配信

要約

スーザン・マトソンがホストを務めるポッドキャストで、ゲストのマーク・ドゥーリトルがSCMH（Supply Chain Management Handbook）について解説しています。マークはレイセオン・テクノロジーズのコリンズ航空宇宙部門でテクニカル・フェローを務め、PSCI（Product and Supply Chain Improvement）のIAQGリーダーとしてSCMHの開発と展開を監督しています。彼はSCMHがIAQG規格に対する「どのように」の部分を提供し、航空宇宙・防衛産業におけるサプライチェーンの改善に貢献していることを説明しています。

SCMHは主に中小企業に恩恵をもたらし、IAQG.orgで利用可能な資料やウェビナーを通じて情報提供が行われています。また、SCMHの更新頻度は非常に高く、最新のガイダンスが頻繁に追加されています。マークは将来的な展望として、IAQGエコシステムの構築やトレーニングの導入についても触れています。ポッドキャストの最後には、マークの今後の活動やSCMHに関するさらなる情報が期待されています。

* **ゲスト紹介**: マーク・ドゥーリトル（レイセオン・テクノロジーズ、SCMHのIAQGリーダー）
* **SCMHの概要**:
	+ Supply Chain Management Handbookの略
	+ IAQG規格の「どのように」の部分を提供
	+ サプライチェーンのベストプラクティスを提供
* **利用者**:
	+ 主に中小企業が恩恵を受ける
	+ 大企業が作成したベストプラクティスを共有
* **資料とウェブサイト**:
	+ IAQG.orgにてSCMH関連資料が提供されている
	+ 無料で登録し、最新情報を取得可能
* **更新頻度**:
	+ 非常に高く、ガイダンス資料は頻繁に更新される
* **将来的な展望**:
	+ IAQGエコシステムの構築
	+ トレーニング教材の導入
* **参加方法**:
	+ 会員企業を通じてボランティア募集や参加が可能

＝＝＝＝＝

スーザン：皆さん、ようこそ。ホストのスーザン・マトソンです。今日はマーク・ドゥーリトルさんにお越しいただきました。マークはレイセオン・テクノロジーズのコリンズ航空宇宙部門でテクニカル・フェローを務めています。また、SCMH の開発と展開を監督する PSCI（Product and Supply Chain Improvement）の IAQG リーダーでもあります。ようこそ、マーク。

マーク：ありがとうございます。ここに来られてうれしいです。

スーザン：いいね。SCMHは2008年にリリースされましたが、それ以来、あなたのチームはIAQG規格の背後にある資料やハウリングの提供に非常に積極的に取り組んでこられたと思います。今日はリスナーのために、そのことをもう少し掘り下げてみたいと思います。どうですか？

マーク：素晴らしいと思います。

スーザン：素晴らしい。オーケー、素晴らしい。さっそく始めましょう。何よりもまず、SEMHとは何ですか？

マーク：SEMHとは、Supply Chain Management Handbookの略です。IAQGの世界ではガイダンス資料となっています。IAQGでは、基本的に2つの製品に分かれています。

マーク：私たちが最もよく知っているのは、規格です。AS9100のようなAS文書です。これはAS9100のようなAS文書で、私たちが監査を受けるためのものです。そして、2つ目の製品セクションはPSCI組織で、製品とサプライチェーンの改善セクションです。

マーク：このセクションは私が運営しており、その中で最大の製品のひとつがサプライチェーン・マネジメント・ハンドブックです。サプライチェーンマネジメント・ハンドブック自体には規格はありません。規格が 「何を 」の部分だとすれば、私たちは 「どのように 」の部分です。ですから、私たちは規格にあるものを取り入れようとしています。

マーク：規格は基本的に最小公倍数、つまり航空宇宙や防衛のサプライヤーであるために最低限必要なことを述べています。しかしこの場合、企業の規模も能力も大きく異なるため、監査可能な機能としてベストプラクティスを作成することはできません。

マーク：なるほど、監査可能な機能は、AS&Dサプライヤーになるための最低条件でなければなりません。ですから、サプライチェーン・マネジメント・セクションとその親玉であるPSCIチームは、航空宇宙・防衛関連企業すべてを最低レベルから最高レベル、そしてクラス最高のレベルに引き上げるというただひとつの目的のために創設されたのです。

スーザン：素晴らしい。大小さまざまな組織、グローバルな企業、すべてをクラス最高のレベルに引き上げるということですね。そうですね？

マーク：そうです。

スーザン：それは本当に誰のためのものなのですか？組織のどの部分がSCMHの恩恵を本当に享受しているのでしょうか？

マーク:そうですね。おそらく最もメリットを享受できるのは中小企業でしょう。SCMHの資料を作ったり、製品やサプライチェーン改善チームの資料を作ったりするのに協力してくれるのは、実は大企業なんです。OEMやティアワン・サプライヤーのような、より高いレベルの企業です。ですから、私たちがここから得ているのは、経験豊富な航空宇宙・防衛関連企業のベスト・プラクティスなのです。

マーク：そして、この資料から恩恵を受けることができるのは、中小企業です。繰り返しになりますが、私たちの標準化組織によって確立された基礎的なベースラインがあります。それがIAQGのもうひとつの製品です。しかし、それ以上に、私たちは、たとえ小規模のサプライヤーであっても、要求される最低ラインよりもさらに優れたサプライヤーになってもらいたいと考えています。

スーザン：では、SCMHは具体的にどこにあるのですか？ウェブサイトにあると思いますが。では、みんなにそれを確実に知らせましょう。

マーク：その通りです。

スーザン：では、SCMHのウェブサイトには何がありますか？

マーク：SCMH の資料は、IAQG.org というウェブサイトにあります。IAQG.org は IAQG 全体のウェブサイトです。最近の変更で、かなり使いやすくなっています。

マーク：IAQG.orgのウェブサイトには、SCMH（サプライチェーンマネジメントハンドブック）というタブがあります。SCMHについてもっと詳しく知りたい場合は、その中にSCMHについてのタブがあります。

マーク：それをクリックすれば、SCMHの教材そのものについてもっと詳しく知ることができます。それから、SCMHの他の資料、ガイダンス資料、エクストラネット・マネジメント・ハンドブック、ウェビナー、質問コーナーもあります。よくある質問もありますし、そのカテゴリにはかなりの量の資料があります。

スーザン:ウェブページにアクセスすると、製品のライフサイクルがありますよね。SCMHではそのようにナビゲートしているのですか？

マーク：ええ、実際にはいくつかの方法があります。最初のステップは、もちろん登録制です。無料です。費用はかかりません。しかし、この登録によって、このシステムを利用している人たちを追跡することができ、将来のために何かを調整するのに役立ちます。現在、11,000人近くが登録していると思います。この1年でリセットしたところです。ですから、1万1,000人以上の新規登録者をホットリンクに分類しています。

マーク：最初にご覧いただくのは、製品ライフサイクルモデルの要素です。製品ライフサイクルのどの部分にいるのかを選択し、その下にあるガイダンス資料やSEMHウェビナーを見ることができます。しかし、通常の製品ライフサイクルモデルに馴染みがない場合は、アルファベット順のリストを入手することもできます。特定のトピックを探しているのであれば、アルファベット順でも入手できますし、検索することもできます。[特定のトピックを知っているなら、そこに入って検索エンジンに入力すれば、そのトピックも検索してくれます。

スーザン:もし探しているものが見つからなかったら、どんなヘルプがあるの？

マーク：ええ。SCMHのプロジェクト・マネージャーと直接話せるヘルプがあります。実際にIAQGで私のために働いていて、SCMHの資料に関する素晴らしいコンタクトパーソンです。

マーク：彼女ほどSCMHの資料を熟知している人はこの地球上にいないでしょう。実は今、試験的に作者に電話をして聞いてみるというコーナーがあるんだけど、今はAPQPにしか使えないんだ。

マーク：しかし、文字通り、AS9145のガイダンス資料に対して質問をすることができます。ですから、プロジェクト・マネージャーや文書作成者に直接質問できる方法がたくさんあるのです。フィードバックもできます。フィードバック欄もありますよ。

スーザン：ドキュメントを参照するわけですね。PDFファイルだけですか？

マーク：いいえ。文書そのものは、サプライチェーン・マネジメント・ハンドブック（SCMH）です。PDFであったり、ワード文書であったり、パワーポイントであったり。また、実際にインタラクティブなセクションもあり、入力することができます。PSCIチームにはウェビナーもあります。製品ライフサイクルモデルのホットリンクから特定のトピックをクリックすると、ハンドブックの資料だけでなく、ウェビナーの資料も見ることができます。なるほど。これらは過去に工場で記録されたものです。その他、参考となるガイダンス資料もあります。

スーザン：そして、もし私の見間違いでなければ、一方がコア・ドキュメント、もう一方がツールで、これらのツールは本当に実践的なものですよね？人々はそれらをダウンロードして、組織内で使ったり、マクロを有効にしたり、エクセルのスプレッドシートで楽しいことをすることができます。

マーク：その通りです。多くの場合、テンプレートが欲しいと言われますが、ここにもテンプレートがあります。そのとおりです。このように2つのセクションに分かれているのは、ユーザーにとって使いやすいようにするためです。

スーザン：ハンドブックにも何度か書かれていますが、SCMHのコピーを手に入れることはできますか？

マーク：その答えは「イエス」であり、「ノー」です。だから、サプライチェーンハンドブックを印刷してくれと言って、何千ページもあるハンドブックを印刷させることはできません。ウェブサイトやテンプレート、パワーポイント、インタラクティブなサイトはPDFだけど、そこにあるものはすべて印刷可能です。

マーク：でも、実際にSCMHの本全体を作ろうと思ったら、何千ページもあるので、セクションごとに分けて印刷する必要があります。全部を印刷するタブはありません。その方法を見つけるのは、私たちにとってとても複雑なことです。

スーザン：想像できます。紙の束はきっと私の背より高いでしょうね。

マーク：そうですね。

スーザン：では、これはどのくらいの頻度で更新されているのですか？SCMHはどれくらいの頻度で新しいものを提供しているの？

マーク：ガイダンス資料の優れた点は、更新が他の IAQG 製品（規格）よりもずっと簡単だということです。なぜなら、私たちには殻がないからです。ですから、私たちの資料はもともと監査対象ではありません。サプライチェーンマネジメントハンドブックを携えて貴社に訪問し、それに対して指摘を行う認証機関は存在しません。そう、私たちには貝殻がないのです。そのため、私たちの投票プロセスは非常に簡素化されています。

マーク：変更するたびに大企業の投票プロセスを行う必要はありません。IAQGの製品サイドは、標準サイドよりもはるかに柔軟です。そのため，ガイダンス資料を常に最新の状態に保つことができます。非常に頻繁に改訂することができます。間違いが見つかれば、追加や改善が見つかれば、この資料はかなり生きたものです。この教材は非常に生きた教材です。ですから、規格の更新頻度についてお考えなら、5年に1度ということになります。私たちのサプライチェーン・マネジメント・ハンドブックの資料は、1週間に1回更新することができます。監査対象にはならないので、私たちの能力を制限するものは何もありません。

スーザン：それについて2つ質問があります。まず1つ目は、どのようにしてその内容を決定するのか、ということです。そして2つ目は、新しいものが追加されたことをどうやって知るのか、ということです。

マーク：ええ。ウェビナーやガイダンスの資料など、サプライチェーンマネジメント・ハンドブックには、さまざまなプロセスから資料が入ってきます。SCMHのアンケート調査からのフィードバックもあります。また、会員企業から意見を得るためのパフォーマンス調査もあります。新しい規格が作られたり改訂されたりすると、規格作成チームはガイダンス資料のセクションを更新することになります。

マーク：現在、FAIのAS 91202とAPQPのAS 9145でその作業が行われています。これらの執筆チームは、現在ガイダンス資料を更新しています。新しいトピックの中に、このようなものがあります。リンクから新情報を確認することもできます。

マーク：What's newのリンクがあります。このようなものは急速に変化しているので、新しいものが追加されたり、更新されたりしています。そのリンクをクリックすれば、前回レビューしたときから変更されたことがわかります。これは新しいガイダンス資料です。現在、47のガイダンス資料があり、12が現在執筆中です。

マーク：私たちは通常、5つ以上のガイダンスを作成したくはないのですが、SCMHガイダンスに対する私たちの業界の意欲は非常に高まっています。そして、それは品質に関するものだけではありません。先進的な製品品質計画の導入により、プログラムマネジメントや設計エンジニアリングでもSCMHの導入が進んでいます。ですから、SCMHの資料やPSC、PSCAガイダンスの資料は、一般的に急速に増えています。

スーザン：あら、想像できるのは、どうやってボランティアを集めるんですか？また、この会話を聞いているリスナーにとって、その一員になりたいと思った場合、どのような機会があるのでしょうか？

マーク：会員企業がSCMHやPSCIのガイダンス資料の一部になるのはとても簡単です。加盟企業の代表者を通じて参加することができます。IAQGからセクターレベル、AAQG、EAQG、APAQGに至るまで、どの会社にも会員代表がいます。

マーク：つまり、AAQG、EAQGといったセクターのメンバー企業であっても、メンバー代表がいるということです。新しいガイダンス資料が作成されるたびに、私たちから通知が届きます。

マーク：ですから、あなたの会社のその人は常にボランティアの募集を受け取ることになります。もし興味があれば、その人に声をかけてください。彼らは間違いなくあなたをボランティアにつなげることができます。今、かなりの人数が集まっています。通常、10人以上集まることはありません。というのも、企業はガイダンス資料に代表者を出すことを要求しているからです。ですから、これは間違いなく会社を通すべき人です。

スーザン：20～25人というのは、もう秘密でもなんでもないような感じですね。

マーク：そうですね。有名になるのは間違いない。

スーザン：では、私たちが期待できることは何でしょう？SCMHとPSCIの今後の展望は？

マーク：そうですね。PSCIでは、これまでとはかなり違う変化が起きているので、PSCIのレベルまで話を進めようと思います。作成中のガイダンスに関してはもっと多くのことが進行中ですが、ここでは2つの具体的なことをお話しします。

マーク：一つはIAQG全般です。私たちはIAQGのエコシステムを構築しようとしています。以前はそうではありませんでしたから、AS9100の文書は、ほとんどの人が規格に精通していますが、ガイダンスのパートナーとは直接つながっていませんでした。今ある成熟度モデル・ツールであるAIMMとも直接はつながっていなかったのです。

マーク：なるほど、お互いにリンクしていなかったのですね。AS9100のシェルを読んでいて、このシェルを実際に達成するにはどうすればいいのだろうと思ったとします。このシェルを達成するためにはどうすればいいのだろう？だから私たちは今、大規模な改善を行っているんだ。

マーク：私たちはIAQGエコシステムと呼んでいます。そして両者の間に、成熟度モデルツールであるAIMMツールがあります。これは成熟度モデルのツールで、自分自身を評価するのに役立ちます。

マーク：これは私たちにとって非常に大きな変化です。繰り返しになりますが、これはIAQGエコシステムの構築です。もうひとつは、私たちにとってはとても新しいことなのであまりお話しませんが、トレーニングについてです。トレーニングについては、これまであまり取り上げてきませんでした。IAQGでは初めて、実際のトレーニング教材の作成に取り組んでいます。

SCMHの教材が本であるなら、ウェビナーは本当のトレーニングではない。ウェビナーは講義です。SCMHはマニュアルで、ウェビナーは講義です。

マーク：しかし、それはトレーニングではありません。実際に参加したり、これらのセクションの1つを指導したり、これらのセクションの1つを教えたりするのに十分な量のトレーニングを受けています。ですから、私たちは今、実際にトレーニングを作ることに手を広げようと考えています。この教材のトレーニングもありますが、それは私たちにとってかなり新しいものです。今はまだあまり知られていませんが、これから増えていくでしょう。

スーザン：ああ、早く聞きたいわ。それが始まったら、またお話しましょう。そのトレーニングについてもっと話したいんだけど、マーク、もう終わりにしましょう。私たちが取り上げなかったことで、あなたが本当に話したいことはありますか？

マーク：話したいことが全部あって、もしあなたが切り上げなければ、僕はあと1、2時間は話し続けるだろうね。だから、今切り上げるのがいいんじゃないかな。

スーザン：本当にありがとうございました。このような貴重なツールに光を当てることができて本当にうれしいです。そして、多くの人々がそのことに気づき、成長しつつあるようですね。それこそが、今日私たちがやろうとしていることだと思います。人々にその存在を知ってもらうこと。そして、彼らが利用できるすべてのものをね。

マーク：素晴らしい。その通りです。その通りです。

スーザン：ありがとう。IAQG Quality Horizonをお聴きいただきありがとうございました。次回まで、ご安全に。